



2019年7月11日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ス リ ー エ フ  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 山 口 浩 志  
(コード番号 7544 東証第2部)  
お 問 い 合 わ せ 先 コーポレート統括マネージャー 六 川 靖 夫  
TEL 045-651-2111

「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載解消に関するお知らせ

当社は、本日公表の「2020年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載を解消いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社グループは、2015年2月期より連続して営業損失を計上したことから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在する旨の記載をするとともに、早期解消に向けて「ローソン・スリーエフ」ブランドへの転換による平均日販の向上、希望退職者の募集による人件費の低減などを進めることで、収益構造の改善に取り組んでまいりました。

この取り組みにより、当連結会計年度の第1四半期連結会計期間において、営業利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益を計上しました。当連結会計年度の通期においても、更なる営業利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の拡大を見込んでおります。

また、株式会社ローソン（以下、「ローソン」といいます。）との間で締結した事業統合契約並びに吸収分割契約に基づき、ローソンより対価を受領していることから資金面にも支障はありません。

以上の状況から、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は現時点で存在しないものと判断し、「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載は解消しております。

株主、取引先をはじめとするステーク・ホルダーの皆様には、大変ご心配をお掛けいたしました。が、今後も更なる業績及び企業価値の向上に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以 上